

ExecutionContextWorkerのデッドロック

2012/02/06 06:19 - n-ando

ステータス:	終了	開始日:	2012/02/06
優先度:	通常	期日:	
担当者:		進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			
説明			
<p>ExecutionContextWorkerにおいて、invokeWorkerXXX系の関数でm_compsをmutex保護しているため、Workerがブロッキングするケースで他の関数（get_component_state()等）との間でデッドロック（あるいは単なるロック）が発生する。コンポーネントリストm_compsはWorkerXXXの最後で呼ばれるupdateComponentList()でのみ変更されるため、WorkerXXX()系関数ではロックを削る必要がない。</p>			
関連するチケット:			
関連している OpenRTM-aist (C++) - バグ #2352: ExecutionContextWor...		終了	2012/02/06
関連している OpenRTM-aist (Java) - 機能 #2347: ExecutionContextWo...		終了	2012/02/04

履歴

#1 - 2012/02/15 17:13 - 匿名ユーザー

- ステータスを 新規 から 解決 に変更
- 担当者を 匿名ユーザー にセット
- 進捗率を 0 から 100 に変更

ExecutionContextWorker実装(チケット [#2347](#))の際に本件の対策を反映して実装。

#2 - 2012/02/15 18:11 - n-ando

- ステータスを 解決 から 終了 に変更